

災害対策をともに考える市民フォーラム開催要綱

～北海道胆振東部地震の体験と札幌市の基本計画と要配慮者の避難支援から～

1. 目的

1993年7月12日に起きた北海道南西沖地震。1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災。2004年10月23日に起きた新潟県中越地震。2011年3月11日に起きた東日本大震災。2016年4月14日と16日に起きた熊本地震。そして、昨年9月6日に起きた北海道胆振東部地震等々と日本は、全国各地で地震や台風等の自然災害及びその影響下に置かれている。そして、過去5年間においては、35都道府県が、激甚災害の指定を受けている。

こうした中で災害時の避難や避難後の生活において著しい制限と制約を受けるとともに支援を必要としている障害者や高齢者は、防災行政上では災害時要援護者とされ、内閣府や総務省等の指導に基づき、全国の自治体では、災害時要援護者の「避難支援計画」や「災害時要援護者名簿」の整備等が進められている。

しかし、昨年9月に起きた北海道胆振東部地震では、要配慮者への支援に関する様々な課題が明確になり、これを受けて札幌市は、避難場所基本計画の見直しを進めており、7月に策定することとしている。

このような現状を受けて、本フォーラムは、札幌市の基本計画等の状況と北海道胆振東部地震時の障害者の状況や関係者の様々な取組みを共有し、災害に強いまちづくりと地域づくりに寄与することを目的として開催する。

2. 主催 DPI（障害者インターナショナル）北海道ブロック会議

3. 後援

札幌市、社会福祉法人札幌市社会福祉協議会、公益社団法人札幌市身体障害者福祉協会、一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会、公益社団法人札幌聴覚障害者協会、NPO法人札幌肢体不自由児者父母の会、一般財団法人北海道難病連、札幌地区重症心身障害児（者）を守る会、札幌市精神障害者回復者クラブ連合会、ピープルファースト北海道、札幌みんなの会、北海道自閉症協会札幌分会（札幌ポプラ会）

4. 日時 2019年6月22日（土）13:00～16:30（12:00受付）

5. 場所 札幌市身体障害者福祉センター 3F 大会議室 （札幌市西区二十四軒2条6丁目）

6. 定員 100名

7. 参加費（資料代として） 500円（学生、資料不要の介助者無料）

8. 内容

13:00 開会

主催者挨拶 DPI 北海道ブロック会議 議長 我妻 武

報告 1 札幌市の避難場所基本計画の見直しについて

報告者：札幌市 危機管理対策室 危機管理対策部

計画・原子力災害担当課長 松坂 彰 氏

報告 2 地域での支え合いによる要配慮者の避難支援について

報告者：札幌市 保健福祉局 総務部 総務課

地域福祉推進係長 野浪 耕司 氏

14:00 休息

14:15 パネルディスカッション 北海道胆振東部地震時の状況と市民の取組み

パネリスト ホップ福祉問題研究所 所長 中岡 良司 氏

医療法人稲生会生涯医療クリニックさっぽろ

副院長 鈴木 大真 氏

星置弘星町内会 厚生福祉部長 杉崎 富夫 氏

DPI 北海道ブロック会議 理事 小谷 晴子 氏

コメンテーター 札幌市 危機管理対策室 危機管理対策部

計画・原子力災害担当課長 松坂 彰 氏

保健福祉局 総務課 地域福祉推進係長 野浪 耕司 氏

保健福祉局 障がい保健福祉部 障がい福祉課

事業管理係長 山本 公崇 氏

コーディネーター 北星学園大学 社会福祉学部長 田中耕一郎 氏

指定発言団体・者

一般社団法人札幌市手をつなぐ育成会

福祉政策推進部 部長 小島佳代子 氏

公益社団法人札幌聴覚障害者協会

理事 福祉・労働部長 佐藤 正昭 氏

札幌地区重症心身障害児（者）を守る会副会長 本宿 裕司 氏

札幌市精神障害者回復者クラブ連合会 副会長 石山 貴博 氏

札幌みんなの会 会長 三浦 正春 氏

16:30 閉会

9. 問い合わせ先

DPI（障害者インターナショナル）北海道ブロック会議

〒063-0814 札幌市西区琴似 4 条 5 丁目 2-20-901

TEL : 011-633-5055 FAX : 011-676-5231 E-mail : info.hokkaido@dpi-japan.org